

9月	矢作川 愛護モニター報告	モニター区間	矢作川: 左右岸 15.0km~21.0km
			管轄出張所: 岡崎・安城出張所
実施日	令和 5 年 9 月 8 日	実施区間	15.0km ~20.0km (右岸)

水流も見えないほど広がる 野草の群生地

真夏の暑さが少し和らいだ9月8日に、モニタリングを行いました。15.0km付近の右岸堤防から見た矢作川は、写真(①)のように夏草がうっそうと茂り、川の流れも見えないほどで、広大な野草の群生地のような様子でした。

前年度、新幹線の橋梁付近の堤防には、黒いビニルの土嚢(②)が並べてあったのですが、今回足を運ぶと、野草に覆われていました。

黒ビニルの土嚢がどうなっているのか確かめてみると、ツル状の草の下にありました(③)。覆っている植物の検索をしてみると「クズ」に似ていますが、葉の形状が少し異なる気がします。なかなか、牧野富太郎のように、植物の同定はできませんが、矢作川の植物の多様さにはいつも心が動かされます。



① 広大な河原を覆い隠す野草の群生



② 黒ビニル土嚢(昨年9月16日撮影)

除草作業も進む堤防・河川敷

一方、各所で除草作業も進んでいました。18.6Km付近では職員の方が機械を使って河川敷の草をきれいに刈り込んでいました(④)。中型の除草機で、かなりの広さの草を刈り取るのは、大変なようでした。草を刈り取ると、堤防の近くには、ポイ捨てのペットボトルなどが少なからずありました。

またもや、残念！！ポイ捨て



③ 「クズ」で隠れた黒ビニル土嚢



④ 除草機で作業に取り組む職員



⑤ 除草後に目立つポイ捨てゴミ